

備前市事務事業評価表

事務事業名	交通安全施設維持管理事業	コード	01-04-01-06
		担当課・係	都市整備課・土木係
		担当者	梶藤
事業実施期間	平成17年度～	電話	0869-64-1835
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目(施策)	交通安全	

事業について	
目的 (何のために)	市道における腐食、破損した交通安全施設の補修を行うい事故防止を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市道上の交通安全施設
内容	市道上にある腐食、破損したガードレール等の防護柵、カーブミラーの補修を行う。見えにくくなった道路標示、道路標識の補修を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
維持修繕箇所(需用費)	11 箇所	13 箇所	
事故修繕箇所	箇所	箇所	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,115	国庫補助金等		直接事業費	1,103	国庫補助金等	
	人件費	3,466	受益者負担		人件費	4,385	受益者負担	
	合計	4,581	市債		合計	5,488	市債	
		一般財源等	4,581			一般財源等	5,488	
								0

必要人員	0.44	人	0.59	人
結果指標名	修繕完了箇所		修繕完了箇所	
結果指標量	11	箇所	13	箇所
単位	箇所		箇所	
対前年比	-		118.18%	0.00%
活動にかかるコスト	4,581,000	円	5,488,000	円
単位当たりコスト①		円		円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	修繕の必要な交通安全施設の不備が原因で起こる事故の防止。		
成果指標名	0件	式又は説明	修繕の必要な交通安全施設の不備が原因で起こる事故件数
	17年度	18年度	
成果指標量	0件	0件	
対前年比	-	#VALUE!	#VALUE!
到達目標値	0件	到達目標年度	平成28年

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 道路法	妥当性評価<A~E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市道における安全施設の管理であり、市が関与するのは妥当であるが、他市では民間委託している場合も見受けられる。本市の場合は、事業費も小さく、引き受け手を採るのが困難な状況である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	現場確認の際、直営で出来る簡単なことは極力作業を完了させコストの縮減を図っている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	NPO、ボランティア団体等による安全施設修繕の簡易な作業への参画を考える必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度状況		説明	施設の修繕は一挙には行えないので、平成19年度も同様に行っていく必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量①	14	結果指標量②

総合評価	評価区分 <A~E> A
施設は毎年増えており、施設の修繕も一挙には行えないので、毎年行っていく必要がある。NPO、ボランティア団体等の参画を考えていく必要がある。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果